

オカムラがオフィス製品における「カーボンオフセットプログラム」を開始
オカムラのものづくりの考え方「サーキュラーデザイン」を策定

株式会社オカムラ
代表取締役 社長執行役員 中村 雅行
本社 神奈川県横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル

株式会社オカムラは、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、オフィス製品の原材料調達から製造、輸送、廃棄までの製品ライフサイクルを通じて、CO₂の排出量を正しく計算し、排出量と同等の排出権（クレジット）付きの製品をお客様に提供する「カーボンオフセットプログラム」を2022年1月より開始します。これによりお客さまは対象製品を購入することで、温室効果ガス削減活動に寄与することになります。

また、オフィス製品におけるサーキュラエコノミー（循環経済）の概念に基づいた「サーキュラーデザイン」の考え方を策定しました。

オカムラグループは、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、これまでの活動をさらに強化するとともに、新たな視点に立った取り組みを展開しています。1997年からGREEN（環境配慮）のWAVE（波）を自ら起こし、その波に乗るといふ「GREEN WAVE（グリーン・ウェーブ）」の考えの下に、製品に関するオカムラ独自の環境基準を策定し、環境に配慮した製品の拡充を図ってきました。2021年より、製品に関するオカムラ独自の環境基準の見直しを行い、新たに製品開発における「サーキュラーデザイン」の考え方を策定、「カーボンオフセットプログラム」の導入により、GREEN WAVEの取り組みを大きくレベルアップします。



■カーボンオフセットプログラム

オカムラの「カーボンオフセットプログラム」は、CO₂の排出量の正確な把握と削減に、国内自社工場生産の強みを生かしています。製造工程でのエネルギー使用量や製品に使用する材料の種類と量を厳密に管理し、工場内の加工工程管理を実施することでCO₂排出量を正確に把握しています。また、国内の自社工場生産するため、原材料の購入、お客さまへの製品納入における効率的な輸配送、工場で使用する電力に再生可能エネルギーを使用することでCO₂排出量の削減に積極的に取り組んでいます。

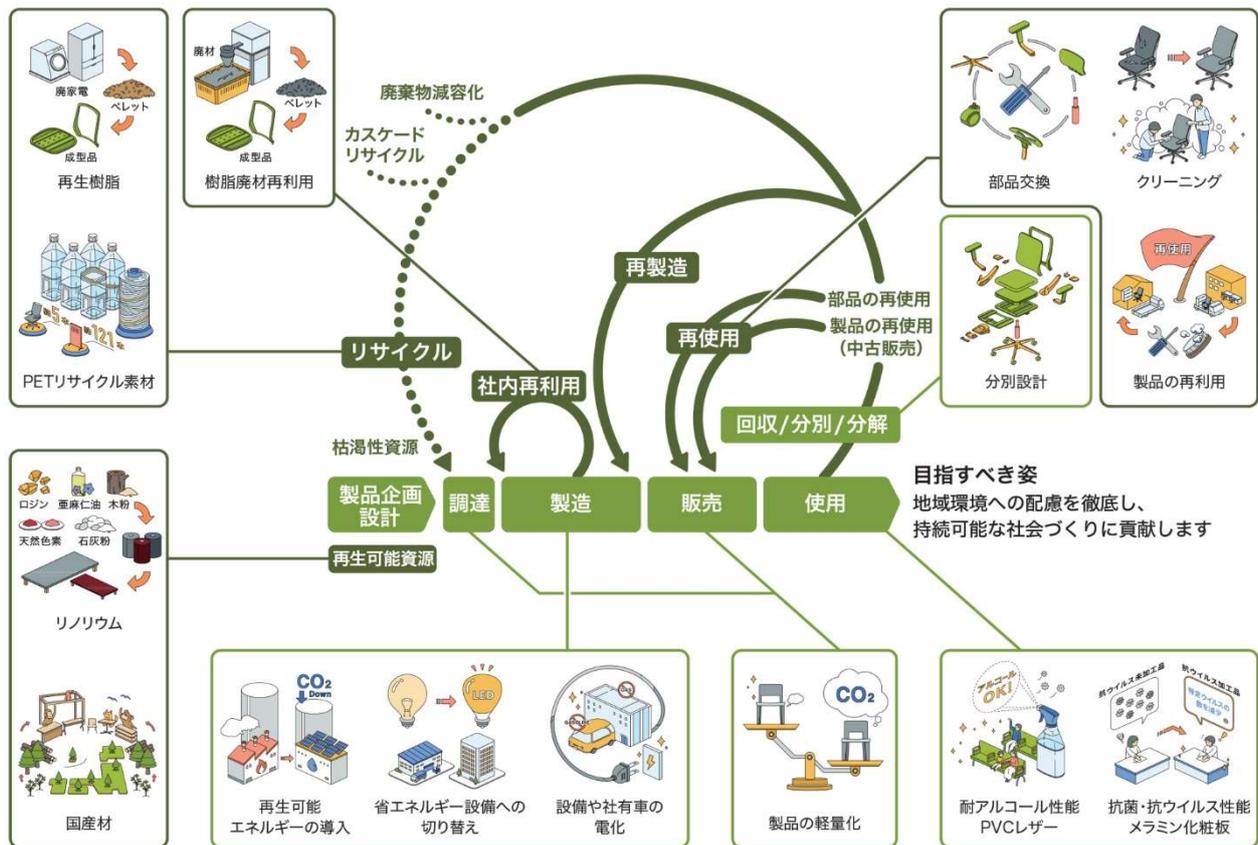


- ・ CO₂ 排出量の参考値（原材料調達～製造～輸送～廃棄まで）
チェア：65kg、デスク：246kg、収納：194kg、ワークブース：503kg
- ・ カーボンオフセットプログラム対象製品：Contessa II、CYNARA、SOLISTE、drape、nel 他

■オカムラのものづくりの考え方「サーキュラーデザイン」

オカムラは、「サーキュラーエコノミー※（循環経済）」の概念に基づき、「製品企画・設計」から「調達」「製造」「販売」「メンテナンス」「再使用」「リサイクル」に至るまでの製品ライフサイクルの中で、限りある資源をより長く有効に使用し、廃棄物の発生を最小化するものづくりを目指すことで、地球環境への配慮を徹底し、持続可能な社会づくりに貢献します。

※サーキュラーエコノミーとは、従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」のリニアな経済（線形経済）に代わる、製品と資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小化した経済を指す（環境省ホームページより抜粋）



□オカムラウェブサイト GREEN WAVE Road to 2050 スペシャルサイト

<https://www.okamura.co.jp/company/sustainability/greenwave/>

参考

□オカムラ 2021年6月29日ニュースリリース

カーボンニュートラル実現に向けて2050年CO₂排出実質ゼロを目指す
2030年度CO₂排出量削減目標を改定

https://www.okamura.co.jp/company/topics/other/2021/carbon-neutral_tcf_202106.html

人を想い、場を創る。

OKAMURA